

Jゼミの中間発表会が行われました！ 8月25日(金)

●各班、これまでの研究成果を発表しました！

国語・英語・地歴公民の教科ごとに分かれて発表会を行いました。夏季補習が始まり、部活に予習にと忙しいなか、各班協力してプレゼンのスライドを用意し、より良い発表を目指しました。

公立小松大学の小原文衛先生や金沢大学の大学院生、昨年度Jゼミで研究活動を行っていた先輩方が見に来てくださり、たくさんのご意見やアドバイスを頂きました。

国語班①：「敬語の変遷」



敬語のはじまりやその変遷から、これからの時代、敬語がどうなっていくのかまで考察しようとしています。『古事記』も読み進めています。

国語班②：「迷信から読み取る日本人の特性」



日本の迷信と海外の迷信を比較し、何を信じているのか傾向をつかむことで日本人の特性を探そうとしています。

英語班①：「人の心をつかむスピーチとは？」



英語のスピーチを分析し、使われている単語や話し方などから、人の心をつかむには何が必要かを予想しています。

英語班②：「カジノ導入から見る日本の未来」



カジノ法案に興味を持ち、カジノが導入されることで日本に与える影響、その後の対策についても考察します。

英語班③：「ヒットの法則～歴代の主演から見るディズニー映画のこれから～」



ディズニーの映画の中にパターンがあり、それがどれくらいヒットに結びついているか、その法則を探ります。

地歴公民班①：「金沢より儲かる小松へ」



私たちが住んでいる小松の活性化を目指し、そのためには何をすればよいのかを、実際にお金が多く動いている市町村から探ります。

地歴公民班②：「これから来るのは〇〇世代!？」



その時代の教育制度や社会状況から、〇〇世代を探ります。今後はアンケート調査なども行う予定です。

地歴公民班③：「ヒトラーについて」



ヒトラーは当時なぜ受け入れられていたのか、まずは彼の幼少期を調べるところから研究しています。

●司会やタイムキーパー、はじめや終わりの挨拶に至るまで、自分たちで運営を行いました。質疑応答も、まずは自分たちから始めます。



●全ての班の発表後、公立小松大学の小原文衛先生や金沢大学の大学院生からコメントをいただきました。「発想がおもしろい」、「もっと深めていくと、すごく実用性のある研究になる」などのお褒めの言葉を頂きました。同時に、発表の仕方や考察の甘さ、不自然な点について厳しい意見や質問、今後の方向性についてのアドバイスも頂きました。今後のJゼミ活動に向けて貴重な発表会となりました。

★「人文科学コース」今後の予定★

◎9月19日(水)～9月21日(金) 関東ヒューマンセミナー